

「懸命に生きる人々～日  
本人こそ学んでほしい」  
池間哲郎人権講演会特集



# 中央中だより

第 2 9 号

平成 2 4 年 9 月 2 8 日

尼崎市立中央中学校

〒660-0051 尼崎市東七松町2丁目5番67号TEL (06) 6481-5351 Fax (06) 6481-5352 <http://www.ama-net.ed.jp/school/J03/index.htm>

## 感謝をして一生懸命生きること

### 「命の重さ」を再確認できた「池間哲郎人権講演会」

9月26日(水)の午後、体育館で「人権講演会」を行いました。東京から「NPOアジアチャイルドサポート」の池間哲郎先生をお招きして、先生が現地で自ら撮影された映像を見ながら、約1時間半、先生の熱い思いを聞かせていただきました。

まだまだ蒸し暑い体育館の中で、1時間半にもわたるお話を、生徒たちは最後まで真剣に聞くことができました。最後の方は、アジアの貧困地域の子どもの画像を食い入るように見つめながら、池間先生の言葉が砂にしみこんでいく水のように、私たちの心の中に深くしみこんできました。

**「大人になるまで生きることが夢という少女の言葉に絶句した」**  
**「子どもの頃にこそ、しっかりと我慢することをしつけなければならない」**  
**「愛と勇気があるからこそ、一つの命が生きていける」**

最後に、ボランティアの4つのキーポイントをおっしゃいました。

- ①まず現実を理解すること
- ②上から目線ではなく、相手を尊敬すること
- ③不要な物をあげるのではなく大切なものを少しだけ分けてあげる
- ④最も大切なボランティアは、一生懸命生きること

同情することでもなく、ただ募金をすることでもなく、世界中に「今を一生懸命生きている子どもたち」がたくさんいる現実を理解し、まず自分が不自由なく生きていける現実感謝しながら、一生懸命生きていこうそう思わせられた1時間半でした。

最後に、参加くださった保護者、小学校の皆様、最後まで本当にありがとうございました。



#### 「生徒会長のお礼の言葉」

池間先生、ご講演、ありがとうございました。今日の講演は、僕にとってすごく衝撃的でした。こんなに悲惨な境遇の子どもたちが世界中にたくさんいることに、まず驚きました。特に、スモーキーマウンテンの少女の夢が「大人になるまで生きること」という事実、自分自身の今までの生き方を改めて考えさせられました。それに比べて、僕たち日本の子どもがどんなにぜいたくな生活をしているか、本当に恥ずかしく思いました。

先生はこう言われました。「最大のボランティアは、与えられた自分の命を一生懸命に生きることだ」と。僕も、これからは自分の命を大切に、すべてのものに感謝を忘れないで、一生懸命生きていこうと思います。

今日の講演はこれで終わりですが、僕たちのボランティアは、今日がスタートだと思います。中央中の生徒会として、そんな子どもたちのために何でもいから何かを始めたいと思っています。今日からがんばります！先生も、お体に気をつけてがんばってください。これからも先生のご活躍を祈っています。今日は本当に、ありがとうございました。

中央中学校生徒会長 島 裕聖

### 人権講演会の感想文

魂が揺さぶられました！

○日本人として、そして人間として勉強になりました。食べるものも飲むものもないのに頑張っている人がいるというのに、今の日本はぜいたくな人が多すぎると僕も思います。手足がなくても必死に生きる、それは愛している人がいるからと教えてもらった時は、確かにそうだと思います。そして、どんな命でも同じ命だと改めてそう思いました。最後の4箇条は僕自身も見直さないとだめだと思います。そして、一番大事なのは一生懸命生きること。一つの命を一生懸命生きる。これからはそのことに気をつけます。(1-3 池田)

○講演で見た映像がずっと頭から離れません。普段から日本は恵まれている国だというのはわかってはいたけれど、先生のお話を聞いて、自分の想像以上のことばかりで、改めて自分は幸せ者だと思いました。体や環境は日本人よりポロポロなのに、生きようとする思い・親を尊敬するまなざし・毎日を一生懸命に生きる姿・学ぼうとする姿勢など、私たちが見習わなくてはならないことがたくさんありました。最初から恵まれている私たちにない感情を教わりました。(2-2 今泉)

○講演が終わったあと、私の頭の中で、今日見た映像とお話が何度もリプレイされました。見ている中ですごく辛くなるがありました。「生きていることが幸せ」「大人になるまで生きていることが夢」。それを聞いてすごく胸が痛くなった感覚は少しずつと忘れることはないと思います。そんな環境の中で育った子どもたちの顔、たぶん私たち以上にキラキラした笑顔で…。なんかそれだけで私の胸の中はほっこり温まった気がしました。本当に日本人は幸せです。自分の生活が豊かすぎて正直申し訳なくなりました。…今日の講演は絶対忘れない。絶対。今日を機に新しい自分が生まれていく気がします。(3-2 武波)

○子どもたちの夢が「大人になるまで生きること」「おなかいっぱい食べること」。このようなことは、私たち日本人にとっては当たり前のことです。ですが、世界中では、今日生きていくために必死になっているんだということが分かりました。でも、こんな子どもたちにもきっと「幸せ」はあるのじゃないかと思います。例えば、親と一緒に暮らすこと、学校に行けること、もしそうじゃない人がいても、どこかに幸せがあると思います。だから一日一日を一生懸命に生きていけるんだと思います。そのことに気づけた気がします。(3-4 Y・M)

○私もベトナムに行った時、今日写真で見た現実を目の当たりにしたことがありました。怖くてただ泣いていましたが、あのとき少しの愛と勇気があれば、分けてあげられる心があれば…と辛いです。私に一つの大きな夢ができました。私の力じゃ小さいですが、みんなが集まると大きくなることを学び、勇気を振りまき現実を受け止めて、池間さんのような仕事をできるようにしたいと目標ができました。きっと私1人でも救える命があるはずですよ。(3-2 濱口)

### がんばった生徒たち

ソフトボール部 準優勝 尼崎市選手権大会(古屋敷杯)

剣道部 尼崎市青少年剣道錬成大会

中学校男子団体 第3位 中央中A・Bチーム

中学校男子個人 第3位 西 紘希・坂井智則

吹奏楽部 銀賞 関西マーチングコンテスト

教育実習の卒業生の浜田大地君の指導も大きかった

### 水泳部クラブ見学

16人の6年生児童が見学に来てくれました。来年が楽しみです。他のクラブは、1月に実施する予定です。

※「学校評価」は都合により次号にします。※